

令和5年（2023年）度 産学官・地域連携活動報告書

連携先名称：大分県竹田市

協定締結日：平成30年（2018年）8月30日

活動状況：継続中

連携先窓口：竹田市役所農政課

活動資金：大学予算

担当教員（所属）：山田崇裕（アグリビジネス学科）

活動体制（単位）：学科

関連教員（所属）：木原高治（アグリビジネス学科）

活動目的：

包括的な連携のもと地域の産業、環境保全並びに教育・研究の充実のため、産業振興、地域づくり等の分野において相互に協力することを目的とする。

人材育成に関する活動では、「バイオビジネス実地研修（必修科目）」を通じた農大生と地域住民、優良農業経営者、地元高校の教育交流活動を推進する。

活動内容・成果：

本連携活動の要となる「バイオビジネス実地研修（一）」は、2023年度も実施することができた。2023年度も新型コロナウイルス感染症対策等の観点から、5泊6日の期間で地域の宿泊施設を利用した合同形式による研修を実施した（研修期間：令和5年度8月18日～8月23日）。竹田市長、竹田市役所農政課、同市観光ツーリズム協会の皆様からのご協力により、地域の特産農産物の収穫・選定、道の駅における特産品の販売、歴史・伝統文化の学習に参加した。また、県立久住高原農業高校の先生方には、農業機械の操作に関する実習をご指導いただいた。このように、学生達は6日間の研修において、竹田市の農林業および地域の歴史・文化の特徴を網羅的に学ぶことができた。

課題・改善点：

これまで教育活動を連携事業の中心に実施してきたが、実態として本学学生と引率教員が竹田市関係者に全般的にお世話になる構図となっている。本学から竹田市への貢献として、本学教員、市役所、市内実務者の連携による地域農業の振興や農業経営の成長に資する研究活動を実施することが必要と考えている。



写真1 研修受入れ式



写真2 道の駅における販売実習



写真3 豊後牛肥育農家における実習



写真4 高原トマト選果の実習



写真5 カボスの収穫実習



写真6 竹田市長との記念撮影